

令和元年11月6日（水）実施 第38回鋼構造基礎講座における受講者からの質問および講師の回答

鋼橋の大規模修繕・大規模更新のその後 ー現状と関連技術等の開発・採用の動向ー

項目	質問	回答
1	塩害に対する耐久性照査式のうち、拡散係数の設計値 D_d ($\text{cm}^2/\text{年}$) 算出に必要な拡散係数の特性値 D_k ($\text{cm}^2/\text{年}$) はどのように設定しているのか？	「更新用プレキャストPC床版技術指針：平成28年3月（（公社）プレストレストコンクリート工学会）」や「プレキャストPC床版による道路橋更新設計施工要領：平成30年3月（（公社）プレストレストコンクリート工学会）」に準拠し、早強ポルトランドセメントについては「ミニマムメンテナンスPC橋の開発に関する共同研究報告書（Ⅲ）ーPC橋の塩害に関する検討ー：平成13年3月（国土交通省土木研究所，（社）プレストレスト・コンクリート建設業協会）」、高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種についてはコンクリート標準示方書における拡散係数の推定式により拡散係数の特性値 D_k を設定しています。